

議長定例記者会見 会見録

日時：平成28年5月2日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の発言事項

冒頭のあいさつ

○副議長就任から1年を振り返って

2 質疑項目

伊勢志摩サミットについて

熊本地震への義援金について

役員改選について

伊勢志摩サミットについて

1 冒頭の発言事項

冒頭のあいさつ

(議長)おはようございます。ただ今から、5月の議長定例記者会見を開催させていただきます。まずは、先月に発生いたしました、平成28年熊本地震によりまして、たくさんの方々がお亡くなりになりました。また、けが等された方、そして家屋等に被災を受けられた方がお見えになります。本当に心から哀悼の意を表しますとともに、お見舞いを申し上げたいと思っております。三重県議会といたしましても、4月27日の代表者会議において、災害義援金を送ることを決定したところであります。被災地の一日も早い復旧・復興を心から祈念いたしております。また、先般から私はさまざまな行事に参加しております。桑名でのメーデーでも支援の箱を持ってみえた方もおりましたし、昨日は宮川の堤でのメーデーで、たくさんの方々がかんぱをしておりましたし、アースデーでもかんぱをしており、数えきれないくらいの所でかんぱをしています。県民の皆さんが状況を目の当たりにして、何とかしないといけないという思いが伝わってきております。県議会としてもしっかりとそういった部分も大切にしながら、頑張ってまいりたいと思っております。さて、本日は、発表事項がございませんが、既に資料提供をいたしましたとおり、4月13日から三重県手話言語条例(仮称)案に対する意見募集(パブリックコメント)を実施しております。5月12日まで意見募集を行っておりますので、報道関係の皆様におかれましては、情報発信にご協力をよろしく申し上げます。サミットまであと24日となってきました。11日に全員協議会を開かさせていただきます。現地の方々から不安の声とか期待の声とか、私は伊勢に住んでおりますので、自

宅が外宮さんの隣ですが、警察官に遭わない日はないぐらいでありますし、また、鳥羽から志摩の方はもっと厳しくなっていると思います。県民の皆さんの協力も求めたいと思いますし、また、不安も高まっている部分もあろうかと思えます。そういったこともありますので、11日の全員協議会ではそういったことも県民の皆さんの目線で議論ができればいいかなと思っておりますので、よろしくお願ひします。私からは、以上でございますが、この1年間、私を支えていただき、広聴広報会議の座長としてもご尽力いただきました、中森副議長から、一言、ごあいさつを述べていただきたいと思います。

○副議長就任から1年を振り返って

(副議長)議長からお話しいただきましたとおり、私の方から、1年間を振り返って、少しお時間をいただいて、ごあいさつを、申し述べたいと思います。熊本地震に対しまして、私の方からも、議長の話と繰り返しになりますが、哀悼の意をささげながら、またお見舞い申し上げ、そして一日も早い復旧・復興を願うところであります。さて、昨年5月に副議長に就任させていただき、1年間にわたり、中村議長を補佐する、また中村議長とともに、議会運営に関わらせていただきました。合わせて広聴広報会議の座長として、県議会の取組を広く発信し、また県民の皆さんからいろんなご意見をいただいたと思っております。この1年を振り返ってみますと、議長のもと、さまざまな議会活動をさせていただきました。いい経験をさせていただいたと思っております。特に、昨年6月には、政策討論会議を設置し、地方創生という喫緊の政策課題について議論させていただきました。また、昨年度はみえ県民力ビジョン・第二次行動計画の策定が行われたことから、県議会としての意見をまとめ、知事への申し入れをさせていただきました。それから、議会改革の取り組みとしては、私から申し上げるのも僭越ですが、議会活動計画の策定や2月定例会議では、委員会活動の自己評価にも取り組んだところであります。今後の委員会活動の更なる充実が期待されると思っております。広聴広報会議の座長としましては、広報活動においては、県議会だよりをはじめ県議会新聞の発行などの取り組みを行い、より県民の皆さんに分かりやすい内容となるよう、その充実にも努めたところです。特に広聴活動においては、多様な県民のご意見をいただきたいという趣旨で、みえ現場de県議会を2回開催いたしました。昨年11月には「若者の声を県政に」をテーマに、17歳以上20歳未満の方と、また、本年2月には「鳥獣害に強い地域づくり」をテーマに、鳥獣害対策に関わるご意見を頂いたところであります。このような広聴活動を通じまして、貴重なご意見を頂いたわけでありまして、引き続き今後も継続して取り組みをさらに充実してほしいと思うところであります。また、今年の8月には、本県議会では2回目となります、みえ高校生県議会の準備を進めているところであります。先日に募

集を締め切りさせていただいたところ、応募校が16校と予定より多くの学校から応募がありまして、5月9日の最後となる広聴広報会議で協議をさせていただきたいと思っております。最後になりますが、この1年間、皆さま方にも大変お世話になり、また議長にも大変お世話になったと私は思っております。議会活動の中で、この1年間は非常に有意義で、かつ、重要な1年を過ごさせていただきました。この上は、また一議員としてしっかりと県政の発展のために、これからも引き続きで県民のために、取り組んでまいりたいと思っておりますので、1年間、感謝と御礼を申し上げて私の方からのごあいさつとさせていただきます。機会を頂きありがとうございました。以上でございます。

2 質疑応答

伊勢志摩サミットについて

(質問) サミットについて一点ちょっと伺いたいんですが、今志摩市内の方では、徐々に検問も始まって今後交通規制っていうのはどんどん激しくなって、住民の方への影響も徐々に大きくなっていくかとは思っているのですが、11日に住民の方々の不安の声等を伺いたいというお話があったと思うんですが、それを通して、例えば県議会の方から、三重県警なのか、県なのか、を通して、何か要望等を出されるご予定っていうのはありますでしょうか。

(議長) 11日には全員協議会を開いて、そして関係のサミット局にお越しをいただいて、それぞれの議員が各地域で、いろいろ感じられているところ、それから特にテロ対策だとか、多分県民の皆さんが不安に思ってみえることとか、そういったものについて、集中的に質問をさせていただく、そういう場になるというふうに思います。その中で、特に必要な、これは確認しとかないかんとか、その場で、サミット局の範囲内で出ない部分であればですね、サミット局を通じてお話しをさせていただく、そんな形になるんじゃないかと思っております。また議員の中から、正式に国の方へとか、いろんな声が上がってくるようであれば、そういう対応、それは中身としては万全に情報発信もされているんじゃないかと思っておりますので、その中の議論の経過を見て、判断したいと思っております。

熊本地震への義援金について

(質問) まず議長に。熊本地震への義援金の額は決まったんですか。

(議長) 今まではこれくらいのケースだと、だいたい30万くらいの数字が上がっておったんです。過去の経緯を見ると、ただ東日本のときはまた別の形でされてましたので、金額的に少ないんじゃないかという声もありまして、全

体的にまとめて次々回の代表者会議の中で、ちょっと今、皆さんで練っております。ああいう場面を見てですね「これはもうなんぼでも出さなあかん」という方もお見えになるかもわからへんし、例外的な形というのもなかなか難しい部分もありますので、少し皆さんの方から出てきた声をまとめて思っておりますので、今のところ30万よりは多くせないかな、とそんな感じでございます。

役員改選について

(質問)あと副議長、1年の振り返りのごあいさつをされましたけど、確認ですけど、1年で副議長の辞職願を出されるということでもいいんですね。次の本会議に。

(副議長)あいさつするという事は、当然ですね。そもそも慣例としております副議長職は1年ということをお前提に。この機会でないともうごあいさつする機会が無いので。

(質問)つまりだから自民の会派から、また次の副議長候補を出されるということでもいいんでしょうか。

(副議長)これはですね、予定されております代表者会議でお諮りし、どのような選考をするかというのはそこに委ねられるということをお前提となるわけですけども、私の個人的な意見として、当然私どもの会派から候補予定者を出さんではないかということをお自身が想定しているということです。

(質問)議長にお伺いしますけど、議長は予定通り2年間やられるのですか。

(議長)代表者会議の申合せで、平成21年の5月の改選から議長の任期期間を2年、副議長を1年、というふうに、申合せがございますので、その申合せどおりでというふうに私自身は感じているところです。

(質問)中村さんてまだ会派は離脱されてないですよ。

(議長)はい。新政みえに所属はしながら、議長です。

(質問)新政みえとして副議長候補は出すお考えはあるんですか。

(議長)ちょっと新政みえに聞かないとわかりませんね。代表にちょっと聞い

たってください。

伊勢志摩サミットについて

(質問) 中村議長にお伺いしたいのですが、改めてサミットが24日前ということなのですけど、サミットに対する期待と11日に全員協議会があるということなのですけど、県民の皆さんにどのようなお気持ちでこの日を迎えて欲しいか、一言コメントを頂けたらと思います。

(議長) はい。いつも同じことを申し上げてます。私は実は、伊勢なものですから、3回ほど、サミット局から資料を頂いてパワーポイントでサミットはそもそもなんなんや、どういう意味があるのか、いろんな世代の方々に勉強会で示してきました。その時に申し上げておりますのはやっぱり一生に1回、回ってくるかわからない、たぶん回ってこないだろう。世界最高峰の7名のトップがこんな小さな志摩半島にやってきてくれる。そのことが伊勢志摩の中身、三重県を世界中に情報発信して行く最高の機会であるということをもっと皆さん知りましょう。ですから、我々がしなければならぬことはおもてなしをきちんとしようではないか。みんな市民にできることは美化運動であったりクリーンアップ作戦であったりです。伊勢市駅前の方に2回ほど参加しましたが、そこをきれいにすることがどうなのかというよりか、そういう姿勢を見せることによって、多くの市民の皆さんにサミットできれいにいろいろやっていただいているんだな。やっぱりおもてなしをしていかなあかんのやなと思いが高まってくださることを期待したいと思います。ただ、先般から海外でもテロもありました。それに対して今たくさん警察官の方が来て頂いております。この間見た時は背中に岐阜県警と書いてありましたし、昨日は福井県警と書いてある方が自転車とか、二人一組で歩いて頂いておりますけども、そうやって来て頂いている方々に対して感謝を申し上げながらもテロとかそういう出来事が決してあってはならないということで、そういった思いをですね、しっかりと持って、私自身としては何事も無く、そして平和の伊勢神宮のあるところから広島・長崎の展示もあると聞いております。志摩半島から世界へ、平和の情報が発信される。そんなことを望んでおります。しっかりと成功していただいて、それに対して県民はおもてなしをきちんとやって、そして成果として平和の情報発信ができれば最高だというふうに思わせて頂いております。以上であります。

(質問) 議長からは今テロの話とあと期待というコメントを頂いたのですが、今までの準備、24日前の準備の体制をみて、今は楽しみの方が多いのかそれともまだ若干不安部分もあるのかを最後にお聞かせください。

(議長) はい。期待や楽しみ半分、それからどれだけ警備してもどんな形になるか想像が付きませんので、やはり不安も半分。住民の皆さん、さまざまな声と申しますか、例えば、ご商売されている方はお巡りさんが通っていますから普段の観光客の方と違いますので、お土産もの関係の方とか厳しいのではないかなとか。それからいろいろ仕事で来るのに途中でチェックを受けたりとか、それもまたもっと厳しくなっていくのじゃないかなとそういった住民の皆さんの生活に及ぶ影響とか、そんなことを考えると心配な部分もございます。心配半分、成功への期待半分、そういう所ですかね。

(以 上) 10時50分 終了